

記者発表資料
平成25年2月19日
環境対策課大気環境班
担当 泉澤, 佐藤
内線 2665

平成24年度被災地における環境大気中ダイオキシン類調査結果（冬季） について

東日本大震災の被災地5地点における、環境大気中ダイオキシン類の調査結果についてお知らせします。

1 調査の目的

がれきの焼却処理が本格化した5カ所の二次仮置き場から発生するダイオキシン類について、環境大気中における動向を把握する目的で実施しました。

2 測定結果

0.010 ~ 0.015pg-TEQ/m³の範囲であり、環境基準（0.6pg-TEQ/m³）を満足していました。

表 環境大気中ダイオキシン類調査結果（環境基準※ 0.6pg-TEQ/m³）

番号	市町村	地点名	試料採取日	毒性等量 (pg-TEQ/m ³)	備考
1	山元町	山寺地区	H25.1.8~15	0.010	山元処理区近傍住宅地
2	亘理町	吉田体育館	H25.1.8~15	0.013	亘理処理区近傍住宅地
3	岩沼市	玉浦小学校	H25.1.8~15	0.013	岩沼処理区近傍学校
4	名取市	閑上浄水場	H25.1.8~15	0.012	名取処理区近傍住宅地
5	石巻市	築山地区	H25.1.8~15	0.015	石巻ブロック近傍住宅地

※環境基準：人の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準であり、環境省から告示されている。

3 今後の予定

県では、引き続き被災地においてダイオキシン類やアスベスト等の大気環境モニタリング調査を実施し、結果を公表して参ります。